



青春トークリレー
第244走者

かとう たくや
加藤 拓也 さん

岩堀区在住 22歳 社会人
身長 173cm 血液型 A型
好きなタイプ 正直で元気でよく
笑う人
好きな芸能人 大泉 洋

時が経つのは驚くほど早く、私もあっという間に22歳。大学生生活は何もかもが充実していて、一つの後悔もありません。

4月から、ついに社会人として働き始めました。私は当時、進路の選択について大変悩みました。本当に進むべき道はここでのいいの、後悔はしていないかと、何度も自問自答しました。その時、大学の恩師の先生が「自分の進む道が正しいかなんて、誰も分からない。それなら、自分の力で正しい道にしていけばいい。」と声を掛けてくださいました。

今はもう、自分の進路に迷いはありません。常に目標をもち、周りの人への感謝を忘れず、自分の決めた道を自信をもって歩んでいきたいと思います。



はろーキッズ

掲載写真を印刷してプレゼント。
希望者は企画政策課まで。



5月のある日、散歩に出かけた年長組の子どもたち。途中で、わした保育園の子どもたちが、川遊びをしているところを発見！

わんぱくどより
「某月某日
菱池保育園」

楽しかったね 川遊び

園に戻ると「いいなあ。川にいきたくないなあ。」先生、今度川に行こうよ！と、子どもたちから意見が出てきて盛り上がり、必要なものなど話し合い計画を立てました。

ザルや網、バケツを持って意気揚々と歩く子どもたち。いよいよ川の中へ入ると、うれしくて水の中を「キヤーキヤー」と言って駆け回る子。泳ぎ始める子。網やザルを持って獲物はないか探索する子。その横で友だちを応援している子も…。

「つかまえたよー」と歓声が響き渡ります。小さなエビ、名前のわからない魚、シジミなど続々と捕まえて、満面の笑みでバケツに入れていました。捕まえてきた生き物は、水槽に入れて飼っています。じつと覗き込みながら、楽しかった川遊びを思い出しては友達との会話に花を咲かせています。



ちびと編集者のわいわい

▼インターネットを見ていたある日のこと、偶然、見知らぬ人のブログが目にとまりました。

その内容は、広報こうたの1カ月の出生児の氏名が書かれている欄に娘さんの名前が掲載されていることを喜び、「この子が大きくなって、広報こうたの出生の欄を見ているときに、あなたも載ったのよ」と当時の広報紙を娘に見せてあげることが、今の私の夢です。大切に保存しなきゃ。」と書かれていました。たまたま見たこのステキな話に、この仕事へのやりがいを感じることができました。

この氏名のコーナーはとても人気です。名前が時代を感じることもできます。保護者の皆さんが、希望と願いを込め、考えに考えた名前を見ていると、これからの明るい未来を願うほかありません☆

先日、僕もちよっと書庫に行き、保存されている古い広報紙を探してみました。僕の名前も30年前の広報紙にちゃんと載っていました。そしてその上下にたくさん書かれていた名前も、幸田の同級生なので、今となっては、知っている名前ばかり。何か、感慨深いものがありました。

来年の平成26年8月1日、幸田町と豊坂村が合併し、今の幸田町になって60周年。まだまだ成長課程にある町です。これからも、掲載した赤ちゃんたちのように一歩一歩進んでいくのですね。またこの町にんだか愛着が湧いた、そんな出来事でした。まじめ！どっしりしたんだ、編集者〜笑(下)